北村精工

「万能ボードパッチ」製品化

鉄骨下地用と木下地用の二種類

北村精工㈱（本社＝大阪府柏原市。北村幸信社長）では先般、「万能ボードパッチ」を開発および製品化。建屋の壁面下地用における仮留め作業で抜群の効率化が図れる。鉄骨下地用と木下地用の二種類を揃え、壁面以外のニーズにも使用者の発想によって他の締結シーン等への応用がおこなえる。外径30㎜の頭部パッチ（ワッシャー×カシメ加工）が石膏ボードとの幅広い接地面を実現させ、従来品よりも施工本数・箇所の低減が可能など、トータルコストの抑制が得られる製品となっている。同社では、一度使用することで様々なメリットについて具体的に感じられるものとし市場への普及を進めている。

壁面下地の仮留めに効果

万能ボードパッチは、座金形状のパッチを製品頭部にカシメ加工で一体化させた特殊ねじ製品。建屋壁施工における石膏ボード仮留め作業での課題解決を図り、安定・安全な施工に寄与する。超薄型の頭部パッチの採用により、通常のねじ締結に比べて母材への接地面積が広くなることで、ねじ本数・箇所を抑制してのコスト削減と、従来同様の高い締結性の両立を具体化する。設計にあたっては、実際の施工現場においてサンプルを用いた作業が重ねられ、製品の試作・打込み等に加え、施工性の確認などがおこなわれ、最適な形状とサイズを導き出した独自規格となっている。

また、建屋壁の施工現場で見られる作業事例として、片手で石膏ボードを抑え、一方の手でビットに嵌め合わせたねじのぐらつきを防ぎ、ボードに対してねじが平行を保ったままの打ち込みには両手が塞がる場合もある。その際には、ボードを肩で抑えての施工や予めねじをボードに押し当てた状態から締結するなど熟練技法で対処しなければならないことがあり、この不安定な状態下による施工では斜め締めになることもある。

これらの課題解決に万能ボードパッチでは、1ケースに「マグネット付き推奨ビット」を2本付属させて販売している。ビット磁力により、ねじとビットが最適に嵌め合い落下を防ぐことで作業者負担を軽減し、確実に施工がおこなえるため使用が推奨されている。これにより作業者の技術力に依らず均一な仕上がりが得られるのがポイント。さらに、施工面はツライチ（＝平面）になるほか、作業者の腰袋にもコンパクトさを有しており高い利便性を発揮。

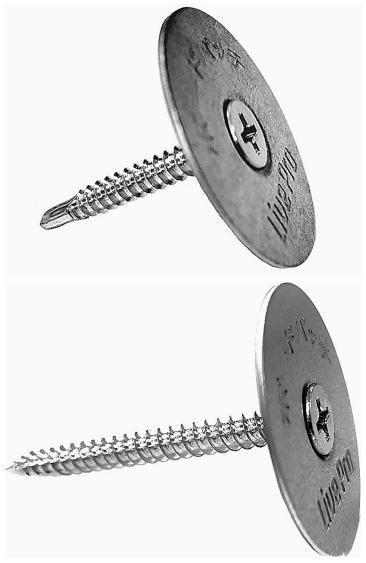
同社では以前より鉄下地（＝ドリルねじ用）に対応したタイプを展開していた。そのような中で今後の市場ニーズを見据えて、使用者の発想によって他の締結ニーズ等への更なる応用が拡張するように、木下地（＝トガリ先ねじ用）に対応した「万能ボードパッチ」を先般に開発・製品化した。先述のコスト削減効果等を備えた特徴から同社では、市場流通品に比べてわずかに製品単価の差異が見られるものの、一度使用することで多くのメリットを実感できる製品であるとして、市場への普及を進めている。

同社ホームページにおいて使用方法と施工方法を紹介した動画を公開中で、本紙掲載のQRコードよりアクセスがおこなえる。鉄骨下地用・木下地用の2種類のラインナップは次の通り。

▽鉄骨下地用＝品番「BP43」…パッチφ30―板厚t0.8㎜、呼び径4×首下長さL寸30㎜、三価ユニクロ（100本×10袋入り）、「BP45」…パッチφ30―t0.8、呼び径4.2×45㎜、三価ユニクロ（80本×10袋入り）。

▽木下地用＝「WBP38」…パッチφ30―t0.8、呼び径4.2×38㎜、三価ユニクロ（100本×10袋入り）、「WBP45」…パッチφ30―t0.8、呼び径4.2×L45、三価ユニクロ（80本×10袋入り）、「WBP75」…パッチφ30―t0.8、呼び径4.2×L75㎜、三価ユニクロ（50本×10袋入り）。

なお、首下長さは75㎜まで対応しており在庫販売体制を整えている。



画像は上から万能ボードパッチの鉄骨下地用と木下地用。左は使用方法編のQRコード

実施工編のQRコードと下はビット装着時の画像（上から鉄骨下地用と木下地用）

企業名鑑

商社の部

㈲ネットワーク社

①企業名＝㈲ネットワーク社。

②所在地＝大阪府東大阪市吉田本町1―2―40。

③創業＝1989年。

④人数＝役員含め7名。

⑤主な取扱製品＝精密切削加工による特殊加工品。

⑥納入先＝半導体・車両・鉄道・建設機械・産業機械分野など。

⑦企業概要＝同社は菅原修氏（現会長）が東大阪市で部品商社として創業。協力企業との緊密な連携関係を重視した事業の展開がおこなわれてきた。

2017年には、取引先である㈱垣内螺子商会（大阪府東大阪市高井田中1―1―31。垣内龍夫社長）のグループ企業となり、現在は代表取締役社長に垣内龍夫氏が、取締役社長には令息の垣内悠輔氏が就任し、具体的な経営は悠輔社長が担っている。

提供の大半が特殊加工品であり、国内外にある約200社の協力企業と連携し、切削・圧造・プレス・レーザー・放電・熱処理・表面処理などの様々な加工を行っている。中でも、精密切削加工を得意とし、難易度の高い製品を数多く提供している。また、材質は鉄・ステンレス・アルミ・銅・チタン・亜鉛・樹脂のほか、ハステロイ・純モリブデン・タングステンなどの難削材にも対応。サイズは形状・個数によって異なるがφ1～φ700㎜程度まで可能であり、試作から量産までの提供体制を整える。

さらに、悠輔社長は、垣内螺子商会・ネットワーク社それぞれの会社のノウハウや協力企業網を共有し合うことで、今まで以上に幅広いニーズに対応できる体制を構築するとともに、両社間の更なる連携強化を推進すべく、情報共有や顧客対応力向上に繋がる社内システム整備にも注力する等、グループ全体としての企業価値向上に向けて様々な施策に取り組んでいる。

また、コーポレートスローガンに「承継×革新」を掲げ、企業原点を大切に受け継ぎつつ、それらをベースに新たな時代に対応できる企業体質構築を目指す。今年4月には同スローガンに基づいた行動指針も策定がなされて、協力企業との緊密連携によるインプット・アウトプットが独自の付加価値を生み出すものであると捉え、これまで以上に協力企業との深化を図る。その中で様々な知見やノウハウを培いながら、顧客提案力の向上に努め、“モノづくりのコーディネーター”として、圧倒的な存在感のある会社を目指すものとしている。

⑧HP＝https://network-corp.jp/。また、Instagramのアカウント「network_corp」でも加工事例の紹介をおこなっている。

垣内悠輔社長

8×10写真展参加

佐藤知志氏

佐藤知志氏（ボルト・サトウナベ㈱社長。東京都墨田区錦糸1―17―9）が所属する東京8×10組合連合会は9月1日～7日の7日間、東京・江東区文化センターで写真展「TOKYO8×10 EXHIBITION 2023」を開催した。

東京8×10組合連合会（谷雄治会頭）は、大判カメラ（8×10インチ）を使用するカメラマン有志による団体。2006年11月に発足されてから定期的に写真展の開催は行われ、風景や人物写真などを所属メンバーが様々な技術と高い独創性を基に表現する場となっている。

同展に2012年より参加を行っている佐藤氏は、二眼レンズカメラで撮影した「RR」および過去に同会場のワークショップ参加時に撮影した「物撮り」を展示。

「RR」は、同社が所在する錦糸町エリアにおいて建物の看板を二眼レンズで撮影する事でアルファベットのRが二つ並んで写るように工夫がなされている。

「物撮り」は、2004年に同会場で行われた写真家の中川政昭氏主催ワークショップにおいて、佐藤氏が参加した時に撮影した作品を、同じ会場である事から思い入れのある作品として展示がなされた。

なお、同氏は10月10日～15日に渋谷区のギャラリールデコで行われる写真展「2B＆H2023」にも作品を出品する予定。

自身の作品の前で佐藤社長

小林　潔氏

㈱コバユー（東京都江東区大島9丁目1番20号）代表取締役社長の小林潔氏が9月20日に逝去された。享年68歳。通夜は10月3日㈫18時より、葬儀が10月4日㈬午前10時30分～12時に東京都中央区の築地本願寺・第二伝道会館で執り行われる。同社と小林家の合同葬で、葬儀委員長は同社取締役で御子息の小林哲也氏、喪主は故人の御内室である小林智子氏。

役員人事

藤田螺子工業㈱（愛知県名古屋市中村区名駅南三丁目9―3）では、8月28日開催の定時株主総会ならびに取締役会において、下記の通り役員体制が決定した。

▽代表取締役会長＝藤田徹氏。

▽取締役副会長＝藤田眞氏。

▽取締役副会長＝藤田守彦氏。

▽代表取締役社長＝藤田尚大氏。

▽取締役＝藤田鉄二氏（新任・技術・製造・生産管理）。

▽執行役員＝東清彦氏（品質保証・QMS／EMS）、熊澤伸一氏（営業・調達）。

▽監査役＝原邦男氏（常勤）。

また、取締役の水野信治氏は同日付をもって退任された。

SANPO
（株）サンポーファスナー
ホーマーナット
TEL　072-228-3232
FAX　072-227-0946

配管支持金具
株式会社アカギ
本社
〒104-8251
東京都中央区新富1-19-2
☎03-3552-7331（大代表）
営業所／代理店 全国主要都市
パイプ貫通部シーリング装置
スリーブシール
地下外壁、蓄熱槽、雨水槽、受水槽、共同溝、ピットなど
鉄管スリーブ、コア抜き貫通部の止水
アカギのチコラ

安全・確実な
インサート
MIKADO
合板型枠用インサート スパイカー
断熱天井用インサート スライダートGSD
デッキインサート スプリングルンガー
建築・土木・設備 インサート
株式会社三門
本社 03-3553-2281
東京営業所:03-3553-1321／札幌営業所:011-786-5061
仙台営業所:022-287-7511／大阪営業所:06-4703-5661
福岡営業所:092-441-6751／沖縄営業所:098-860-1431
商品センター:0478-83-2411

真鍮切削六角ナット
樹脂圧入インサート
切削複合加工
● 生産2拠点体制（敷地1000坪）で災害リスク回避
● NC、自動旋盤など130台保有
● トレーサビリティにも対応
● 精密切削加工により試作から量産まで低コスト対応
● 真鍮・SUM・ステンレス・アルミ
brablo
葛飾区 優良工場認定
平成16年度 葛飾区優良工場認定
ISO9001・14001 認証取得企業
有限会社千葉精螺
本社工場　東京都葛飾区立石3-6-7　電話03-3693-5515　FAX03-3693-5517
茂原工場　千葉県茂原市小林1693　URL：https://www.chibaseira.co.jp/

テレメジャーⅡ対応
QCプロ QC PRO® 品質管理PCソフトウェア
✓統計的手法に基づいた抜き取り検査に最適です。
✓管理図が瞬時に作成できます。（オプションソフト）
✓図面を画面に表示しながら測定値入力ができます。
✓工程内QCプロ導入でDX化が実現できます。
検査成績表を瞬時に作成
ベクトリックス株式会社 〒171-0043 東京都豊島区要町1-4-11 サダシン要町ビル
03-5995-3800 https://www.vectrix.co.jp/

創業昭和8年
馬印
真鍮ナット
輸出向内需向本邦随一
製造品目
馬印黄銅（真鍮）ナット
黄銅ボールトナット
黄銅各種袋ナット
電機・般舶・車両・自動車
瓦斯・水道・水栓
機械用各種黄銅製ネジ
七宝産業株式会社
代表取締役社長　小西健治
本社・大阪市生野区巽北1丁目13―19
TEL 大阪（06）6753―0561㈹
FAX 大阪（06）6753―1778

さらなる「安全・安心」を求めるとともに
作業の効率化を進めます
作業現場の安全性・施工性向上に貢献する製品ラインナップ
マルチアイボルト
マルチアイボルト ハイブリッド
リターンバックル
横兵衛
浪速鉄工株式会社
〒552-0007 大阪市港区弁天3丁目6番15号
TEL.06-6571-2171　FAX.06-6572-8858
https://www.naniwa-iron.com

NST
一度に多要素測定
ねじの締付け力をテストする試験機
測定項目
◇締付け軸力
◇ねじ部トルク
◇ボルト伸び
◇締付けトルク
◇締付け回転角
◇「JIS B 1084」「ISO16047」準拠
演算結果
◇総合摩擦係数
◇スナグ点
◇トルク係数
◇降伏締付け軸力、トルク
◇ねじ面・座面摩擦係数
◇極限締付け軸力、トルク
プリベリングトルク試験
◇保証荷重試験
◇初回試験
◇反復試験
◇「JIS B 1056」「JASO F106-96」準拠
MIL-N-25027試験
トルシアボルト／ハイテンションボルトに対応

型式		NST-100NM	NST-500NM	NST-1000NM	NST-1500MN	NST-3000NM
最大締付けトルク		100Nm	500Nm	1000Nm	1500Nm	3000Nm
最大締付け力（軸力）		50kN	100kN	250kN	350kN	500kN
最大保持トルク		100Nm	300Nm	750Nm	1000Nm	2000Nm
試験回転速度		0.05～40rpm			20rpm	
表示	締付トルク	100.000Nm	500.00Nm	1000.00Nm	1500.00Nm	3000.0Nm
	軸力	50.000kN	100.000kN	250.00kN	350.00kN	500.00kN
	保持トルク	100.000Nm	300.00Nm	750.00Nm	1000.00Nm	2000.0Nm
	角度	0～9999.9deg				
	伸び	0.0000～10.000mm				

JISC
JAPAN INSTRUMENTATION SYSTEM Co.,Ltd.
日本計測システム株式会社
日本試験機工業会々員
日本ばね機械工業会々員
本社　奈良県桜井市大西526-1　TEL 0744-46-5521　FAX 0744-46-5527
関東営業所　横浜市緑区十日市場町879-1　TEL 045-482-3885　FAX 045-482-3895
https://www.jisc-jp.com　E-mail:sales@jisc-jp.com

JIS本体規格六角ボルト・ナット
SUS
A2-70
M6～M24 在庫販売中
A4-80
ラインナップ現在拡大中
https://www.prosper-koyo.net
プロスパー洋洋株式会社
PROSPER-KOYO CO.
●本社
〒314-0116 茨城県神栖市奥野谷6129-19
TEL:0299-94-3366 FAX:0299-94-3666
●木更津営業所
〒292-0822 千葉県木更津市桜井704-95
TEL:0438-38-6568 FAX:0438-38-6569